

学びをしポート!

myらいふ



● 記事のご案内 ●

- ① かぬま学びフェスティバル' 17
- ② 地域デビュー講座「鹿沼の偉人を知り、郷土愛を深めよう」
- ③ 親子体験学習「麻ひもを使った和紙のスタンドライトを作ろう」
- ④ 第2回かぬまかるた大会
- ⑤ さあ!男の出番です!!「あなたの“健康”作りましょう」
- ⑥ ちょいモテ男子のエレキギター教室
- ⑦ 心と体を解放するアフリカンダンス

1985. 4. 25~

151号



myらいふは、市民編集員が取材・編集する生涯学習情報です。

つながる学び かぬま学びフェスティバル 17

10月14日(土)、15日(日)の2日間にわたり市民情報センターで「かぬま学びフェスティバル' 17」が開催されました。

このフェスティバルは、かぬま生涯学習大学、かぬまマイ・カレッジとの共催で行われており、各講座で学んだ方たちの日頃の成果を発表する場でもあります。

1階に設けられたエントランスホールの実演スペースではオカリナ演奏、フラダンス、体操、ギター演奏など色々な実演発表があり、会場をさらに盛り上げていました。子どもたちが発表する場では我が子を見守るご家族の「がんばって」「しっかりネ」という気持ちが伝わってきました。



1階と2階のスペースでは受講生の力作がたくさん展示されていました。

夏休みに作った小学生たちのエコをとり入れた作品ではペットボトルのフタを使ったいすやボタンのお皿にのったスイーツ、プラスチックの器を再利用して作ったケーキの貯金箱など工夫を凝らした作品が並んでいました。また、様々な体験の場があり訪れた方々から「今日とはどんな体験ができるのだろうと、毎年楽しみにしてきています」という声がたくさん聞かれました。



5階のマルチメディアホールでは11月26日に行われた「かるた大会」の体験を行っていました。

一人一人の学びがひとつになった2日間。学ぶことで想像力、集中力が養われ、これらは生きる力につながっていくのだろうと実感した「かぬま学びフェスティバル」でした。

鹿沼の偉人 半田良平を知ろう！



10月25日(火)市民情報センターで「歌人 半田良平を知ろう！」が開催されました。この講座は生涯学習課主催の地域デビュー講座「鹿沼の偉人たちを知り、郷土愛を深めよう！」の計5回の講座の第1回目となります。ほかに、鹿沼の偉人としてこの講座で取り上げられるのは、児童文学者の千葉省三、江戸時代の教育者鈴木石橋、同じく江戸時代の絵師高久靄厓、そして帝国繊維創業者の鈴木要三の5人です。今回の講師は、この5回の講座のうち3回で講師を務める市文化課の福田純一さん。20数名の受講生が集まりました。

講座は「半田良平の生涯と作品」というタイトルで、明治20年の誕生から小・中学校時代での文学への目覚め、旧制高校から大学への進学を経て、軍召集、結婚、そして文芸誌の創刊と続きます。要所要所でその時々に詠まれた短歌も紹介され、歌人良平の足跡を辿ります。パワーポイントのスライドを使った解説は、生家などから提供された本人や家族の写真、また学校での記念・集合写真、賞状、成績表や雑誌、書籍など視覚的にも興味深いものでした。生前に唯一出版された歌集「野づかさ」や、没後刊行の「幸木」に収録された短歌のほかに、評論や翻訳なども紹介され、幅広い分野での活躍も知ることができました。

講座の終盤では日本芸術院賞などのいくつかの顕彰の紹介、また生家や母校である津田小学校などゆかりの地に建立された歌碑などが映し出されました。なお平成29年は半田良平生誕130年にあたり、市では「半田良平生誕130年記念事業」として、短歌投稿募集、生誕記念のつどい、作品展などの催しが夏から年末にかけて行われました。鹿沼の偉人の業績を知り、郷土愛を深める良い機会になったのではないのでしょうか。



和紙を使ったスタンドライトの魅力

まるで幻想的な世界に引きずり込まれるような光の反射するやさしい灯り。その「麻ひもを使った和紙のスタンドライトを作ろう」が、11月18日(土)に文化活動交流館多目的創作工房室で開催されました。参加者は10組の親子で計24名。講師はあかり作家の高橋智恵さんです。

鹿沼市は日本で1番麻を生産しているそうです。古くから、神聖な力があると考えられてきた麻は、神社のしめ縄やお相撲さんの横綱にも使われています。



作り方の説明をしながら、さっそく工作開始。小学生にはちょっと難しい部分は、お母さんがお手伝いします。まず土台となる円形の板に竹ひごを両脇に差し込みます。次に、和紙に麻ひもや押し花を貼り、思い思いのデザインにしていきます。そして、内部にボタン型電池で発光するワイヤーライトを取り付け、筒状にした和紙を上から被せると、それぞれ個性あふれる作品が仕上がりました。

最後に、13個のスタンドライトをテーブルに集めて、灯りを点してから部屋の照明を消すと、まるで蛍が飛び交うように光り、子どもたちの表情も一変して笑顔が広がっていきました。先生からも、「想像していたよりも素晴らしい作品ができました」との言葉をいただきました。

置いてもぶらさげてもよいこのスタンドライト。子どもたちにとって、とてもよい思い出となり、生涯大切に灯りを点し続けることでしょう。



かるたでかぬまを知ろう!



11月26日(日)市民情報センターで行われた鹿沼市社会教育委員の会主催の「第2回 かぬまかるた大会」の取材に行ってきました。当日は保護者や関係者の方々が見守る中、60名の小学生が参加しました。

まず主催者挨拶から始まり、スタッフ紹介、今回の大会のルール説明がされ、いよいよ大会開始です!

最初は個人戦からスタート。各シートの上に低学年チーム6人、中学年3人、高学年3人に分かれて座り、両側に審判が座ります。みんな慣れない正座も全然気にならないぐらいに、熱い目で真っ直ぐ目の前に並べられた44枚のかるたを見ていました。かるたが詠み上げられた瞬間どの子供たちも集中している様子がこちらまで伝わってきます。つづいて、個人戦が終わり団体戦へ。こちらは3対3に分かれて対戦します。団体戦も個人戦と変わらず熱気に包まれていました。



個人戦で優勝した5年生の福田さんに今回の感想を聞いたところ、「最初から厳しい戦いだったけど、楽しかったのでぜひまた来年も出たいです」と嬉しそうでした。

最後に主催者会長の斎藤陽子さんに今回の主旨をお聞きしたところ、「子どもたちが挨拶をちゃんとできるようになること、鹿沼の歴史に触れてくれることを大切にしたい」と話していました。

今回の大会に使われ詠まれた「かぬまかるた」は、鹿沼にちなんだ内容で、わかりやすくこの地域の歴史に触れることができます。図書館に何点か所蔵されているので、皆さんも一度手に取ってお友達や家族でかるたを詠んでみませんか?



カンタン・ヘルシー料理で風邪退治!!



「さあ!男の出番です!!~あなたの“健康”作りましょう~」が12月14日市民情報センターで開催されました。今回の内容は「栄養補給で風邪退治~カンタン・ヘルシーお料理教室~」。講師は宇都宮文星短期大学教授の湯澤敏子先生です。

インフルエンザの流行するこの時期に、ウィルスに負けない健康な体づくりを食事の面からサポートするためのカンタン・ヘルシー・レシピを教えてください。

彩り納豆、太陽のようなサラダ、パワーブロッコリー、クリーミーなかぼちゃの4品を作ります。これらは腸内環境を整えて粘膜を調整するのに必要な栄養素を取り入れるために考案されたメニューです。先生が今回伝授して下さるのは、食品の特性を生かした調理法。納豆の混ぜ方やかぼちゃの蒸し煮の方法、ブロッコリーのゆで方などの説明を聞いた後に、男性5人、女性6人の参加者が3つのグループに分かれて調理を開始しました。

テーブルとテーブルの間を行き来し、材料の切り方や混ぜ方の指導をされ、時折、「にんじんを軽くしぼるとは大好きな人と手を握る感じです。もう忘れてしまっているかもしれませんが」とユーモアを交えてお話される湯澤先生。会場の雰囲気は終始和やかでみなさん楽しそうに作業を進めていました。



“余計な調味料は使わない、食材そのものの味を楽しみましょう”と作られた4品はとてもやさしい味がして、すーっと体の中に溶け込んでゆくようでした。

78歳の男性の方は「毎回“男の出番”に参加している。どれも良い講座で、今回も良い内容だった。次もぜひ申し込みたい」と話してくださいました。

今回の講座を通して、食べ物からパワーをもらってイキイキと元気に過ごすことの大切さを改めて感じました。

音楽を奏でてみませんか？ 平成30年度もギター教室開講！



平成29年度よりかぬまマイ・カレッジで開講されている野口先生による「ちょいモテ男子のエレキギター教室」が、平成30年度も開講になります！

初心者の方を中心に、少人数で開かれているこの講座。ベンチャーズの「パイプライン」など、課題曲のフレーズをひとつひとつ丁寧に教えてくれます。

誰もが懂れているはずなのに、始めることを躊躇してしまう、近くて遠い楽器「ギター」。あなたもそろそろ始めませんか？

講師紹介



野口 理 先生

ギター歴25年。日光市でも活躍されています。エレキギターだけではなく、アコースティックギター教室も開講しています！

楽器はツールです！
音楽は人と人をつないでくれます！

音楽で心豊かに！



1曲ごとに、良かったところと、上達のためのアドバイスを言ってくれます！

受講生のみなさんは、「かぬま学びフェスティバル」にも出演されました！

詳細はP11へ！

癒しの「アフリカンダンス」がついに鹿沼に！

音楽を感じてみませんか？



講師紹介



石川 典子 先生

ダンス歴20年。フィットネスインストラクター。シルバー大学校等でも、講師をされています。

ダンスはツールです！大きなコミュニケーションを育みましょう！

平成30年度より、かぬまマイ・カレッジで「心と体を解放するアフリカンダンス」が開講します！

アフリカンダンスは、どなたにも踊りやすいジャンルのダンスです。音楽に合わせて自然と体が動く「自分なり」の踊り方で、和気あいあいと楽しむことができます。そこで生まれるコミュニケーションは、あなたを、日頃のストレスから心と体を解放し、癒しをくれるでしょう。中高年の方にも、ぜひおススメの講座です！



詳細はP6へ！

自分なりの踊り方で！

リクツじゃない！自然とカラダが動く！

編集後記

新しい年に入りました。今年は成年！「結実」を表す年とも言われる成年。自分なりに良い結果を出せる様に、毎日大切に1年間頑張りたいと思います。